

# 令和3(2021)年度 学校マネジメントシート

三重県立あけぼの学園高等学校

## 1 目指す姿

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| (1)目指す<br>学校像 | ○「強く明るく真心得」を校訓とし、あけぼの学園高校の生徒として一人ひとりが“自信と誇り”をもち、地域に貢献し地域から信頼される学校 |  |
| (2)           | 育みたい<br>生徒像   | ○学びに向かう力を育み、成果をあげる体験を重ねることで自己肯定感・自己有用感を高め、新しい時代を生き抜く力を持っている。<br>○制服や頭髪など高校生としてふさわしい身だしなみを整えている。<br>○他の生徒の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ共通の課題に対し協力して取り組んでいる。<br>○地域の一員として積極的に活動することで、地域から信頼を得ている。  |
|               | ありたい<br>教職員像  | ○目指す学校像の実現に向け、「チームあけぼの」の一員として自校の存在価値を高めている。<br>○授業を大切に学力向上を図るとともに、生徒の小さな成長の積み重ねに力を注ぎ、その成長を目にするを自らの喜びとし、自らも成長しようとしている。<br>○生徒及び教職員相互の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ学校の抱える課題に協働して取り組んでいる。<br>○様々な形で積極的に地域と連携・貢献し、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組んでいる。 |

## 2 現状認識

|  |   |  |
|--|---|--|
| (1)学校の価値を<br>提供する相手と<br>そこからの要求・<br>期待 | <p>&lt;生徒&gt;<br/>○わかる授業、部活動の充実、安全・安心で楽しく充実した高校生活</p> <p>&lt;保護者&gt;<br/>○安心して楽しく過ごすことができる学校生活、学力向上、進路実現</p> <p>&lt;中学校&gt;<br/>○中学校に対する理解、多様な生徒の受け入れ、生徒個々への丁寧な指導と進路実現</p> <p>&lt;地域社会&gt;<br/>○学校・地域の連携強化、地域振興・活性化、学校の情報提供、地域の担い手育成<br/>○基礎学力、体力、コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけた人材の育成</p> |  |
| (2)連携する相手と<br>連携する<br>うえでの<br>要望・期待    | 連携する相手からの要望・期待  | 連携する相手への要望・期待  |
|  | <p>&lt;保護者&gt;<br/>安全・安心な学校<br/>基礎学力の定着、進路実現</p> <p>&lt;中学校&gt;<br/>丁寧で親身な指導<br/>多様な生徒の受け入れ<br/>生徒一人ひとりの進路実現<br/>学校の情報提供</p> <p>&lt;地域社会&gt;<br/>地域の担い手育成<br/>社会的マナーを身につけた人材育成<br/>地域行事などへの参加と地域貢献<br/>学校の情報提供<br/>開かれた学校づくり<br/>コミュニケーション能力の向上</p>                                 | <p>&lt;保護者&gt;<br/>学校の指導方針への理解・協力・連携<br/>学校行事への参加と助言</p> <p>&lt;中学校&gt;<br/>教育活動の相互理解<br/>生徒同士の交流と教職員間の連携<br/>学習習慣の涵養<br/>基礎学力の定着<br/>目的意識の向上</p> <p>&lt;地域社会&gt;<br/>地域の子どものための本校へ入学希望<br/>学校行事への参加と助言<br/>教育活動への理解と協力<br/>本校への求人確保とその増加<br/>インターンシップの受け入れと協力</p> |

|                        |  |             |   |              |   |
|------------------------|--|-------------|---|--------------|---|
| <p>(3)前年度の学校関係者評価等</p> | <p>○わかりやすい授業を心がけ、各教員は努力していると感じられる。イエローカードの効果を疑問視する考えもあろうかと思われるが、生徒は先生方の熱意を感じているはずである。生徒にとって、自分に興味を持ってきている感覚は「見えにくい」効果となって現れてくる。</p> <p>○「学習指導満足度」の73.8%は「良好」と判断できると考える。したがって、これまでの取り組みの継続でよいと考える。</p> <p>○生徒に、現状でよいのか考える時間を持たせ、自分のやっている「おかしさ」に気づかせるようにしていってもらいたい。</p> <p>○アンケートや面談を数多く取り入れ、見えにくい「心のつまずき」などを拾い上げようとしている。</p> <p>○キャリア教育は、学校を支えている地域を知ること、自己の役割に気づかせるようにしていきたい。進路に関しては、こまめに対話しており、生徒に寄り添った対応が取られている。</p> <p>○リモートによる発信などの課題が見えてきたが、できる範囲での取り組みをする必要性を共有できたと思う。</p>   |             |   |              |   |
| <p>(4)現状と課題</p>        | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="268 674 379 1003"> <p>教育活動</p> </td> <td data-bbox="379 674 1517 1003"> <p>○教育活動の質の向上に取り組む。学習指導ではICTの活用、指導と評価の一体化、学びに向かう力や自主的な学びに繋がる授業改善等、生徒指導ではコーチングやカウンセリングの手法、キャリア教育では「探究」的な学習の進め方、プレゼン能力の向上等、一人ひとりが研修課題を設定するなど教職員一人ひとりが意識を高めて取り組む。</p> <p>○今年度から導入する一人一台のタブレットを活用した教育活動を進める。</p> <p>○地域課題解決型キャリア教育モデル事業を活用して、生徒一人ひとりが地域の課題解決に取り組み、地域との交流を通して成長する姿がみられるよう活動を充実させる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1003 379 1417"> <p>学校運営等</p> </td> <td data-bbox="379 1003 1517 1417"> <p>○教務部総務係を創設することで教務部の業務分担を行い、特定の教員に負担がかからないようにする。</p> <p>○定時退校、部活動休養日の完全実施を目指す他、精神的にゆとりが持てるよう、職員室の机の配置やリラックスできる空間を設けるなどの工夫をする。定時退校日以外でも定時で退校するよう働きかけるなど職場全体の意識改革を進めていく。</p> <p>○分掌においてICTの活用を進め、ペーパーレス化、情報のデジタル化・共有化を図り、業務の効率化に取り組む。</p> <p>○学校や生徒の活動の様子をホームページ等を活用して発信することで学校のPRや保護者等への情報提供を密にする。</p> </td> </tr> </table> | <p>教育活動</p> | <p>○教育活動の質の向上に取り組む。学習指導ではICTの活用、指導と評価の一体化、学びに向かう力や自主的な学びに繋がる授業改善等、生徒指導ではコーチングやカウンセリングの手法、キャリア教育では「探究」的な学習の進め方、プレゼン能力の向上等、一人ひとりが研修課題を設定するなど教職員一人ひとりが意識を高めて取り組む。</p> <p>○今年度から導入する一人一台のタブレットを活用した教育活動を進める。</p> <p>○地域課題解決型キャリア教育モデル事業を活用して、生徒一人ひとりが地域の課題解決に取り組み、地域との交流を通して成長する姿がみられるよう活動を充実させる。</p> | <p>学校運営等</p> | <p>○教務部総務係を創設することで教務部の業務分担を行い、特定の教員に負担がかからないようにする。</p> <p>○定時退校、部活動休養日の完全実施を目指す他、精神的にゆとりが持てるよう、職員室の机の配置やリラックスできる空間を設けるなどの工夫をする。定時退校日以外でも定時で退校するよう働きかけるなど職場全体の意識改革を進めていく。</p> <p>○分掌においてICTの活用を進め、ペーパーレス化、情報のデジタル化・共有化を図り、業務の効率化に取り組む。</p> <p>○学校や生徒の活動の様子をホームページ等を活用して発信することで学校のPRや保護者等への情報提供を密にする。</p> |
| <p>教育活動</p>            | <p>○教育活動の質の向上に取り組む。学習指導ではICTの活用、指導と評価の一体化、学びに向かう力や自主的な学びに繋がる授業改善等、生徒指導ではコーチングやカウンセリングの手法、キャリア教育では「探究」的な学習の進め方、プレゼン能力の向上等、一人ひとりが研修課題を設定するなど教職員一人ひとりが意識を高めて取り組む。</p> <p>○今年度から導入する一人一台のタブレットを活用した教育活動を進める。</p> <p>○地域課題解決型キャリア教育モデル事業を活用して、生徒一人ひとりが地域の課題解決に取り組み、地域との交流を通して成長する姿がみられるよう活動を充実させる。</p>  |             |   |              |   |
| <p>学校運営等</p>           | <p>○教務部総務係を創設することで教務部の業務分担を行い、特定の教員に負担がかからないようにする。</p> <p>○定時退校、部活動休養日の完全実施を目指す他、精神的にゆとりが持てるよう、職員室の机の配置やリラックスできる空間を設けるなどの工夫をする。定時退校日以外でも定時で退校するよう働きかけるなど職場全体の意識改革を進めていく。</p> <p>○分掌においてICTの活用を進め、ペーパーレス化、情報のデジタル化・共有化を図り、業務の効率化に取り組む。</p> <p>○学校や生徒の活動の様子をホームページ等を活用して発信することで学校のPRや保護者等への情報提供を密にする。</p>  |             |   |              |   |

### 3 中長期的な重点目標

|              |  |
|--------------|--|
| <p>教育活動</p>  | <p>○基本的な生活習慣の確立や部活動・資格取得等への積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力を向上させ、生徒一人ひとりの学校生活の充実と希望進路の実現を図る。</p> <p>○急速に進むデジタル化に対応できるようIT利活用を推進し、Society5.0時代を生きるための力を身に付けさせる。</p>  |
| <p>学校運営等</p> | <p>○地域連携の取り組みや情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。</p> <p>○学校行事・分掌業務・部活動指導等について、精選や見直しを行うとともに、同僚性を発揮し、協力・協働して取り組む体制を確立することで、教育活動や学校運営を継続的に改善するための仕組みが機能し、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるようにする。</p> |

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

| 項目             | 取組内容・指標   | 結果 |
|----------------|---|----|
| 学習指導           | <p>◇生徒の実態に即した学習指導の工夫と基礎学力の向上を図る。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業公開及びテスト前補習を年2回実施</li> <li>○イエローカードの効果的な活用 (※)</li> <li>○ICTを活用した授業を全教科で実施(※)</li> <li>○生徒による授業評価アンケートを年2回実施(◎)</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「基礎力診断テスト学習評価ゾーン1ランクアップ」の生徒35%以上 (R2:34%)</li> <li>○「レッドカード」前年比減 (R2:不認定9、未履修41)</li> <li>○「学習指導に概ね満足」生徒 80%以上 (R2:82.3%)</li> </ul>   |    |
| 生徒指導           | <p>◇高校生としての身だしなみを整え、基本的な生活習慣を確立するために粘り強く取り組む。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全教員による日常的な身だしなみ指導の実施 (※)</li> <li>○全教員による日常的な見守り(登校指導、休憩時間の校内巡視)の実施(※)</li> <li>○特定の違反者への特別指導の実施</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○頭髪服装違反が前年比減 (R2:559)    ○登校遅刻が前年比減 (R2:737)</li> <li>○「生徒指導に概ね満足」生徒70%以上 (R2:67.2%)</li> </ul>  |    |
| 安心・安全な学校       | <p>◇心身の健康と自他ともに大切にしている態度の育成を図り、安心・安全な学校作りを進める。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康状態の把握と情報共有、教育相談の実施(※)</li> <li>○命を考える講演会の実施</li> <li>○学校生活やいじめ、人権に関するアンケートを年5回以上実施(◎)</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「安心・安全な学校生活ができている」生徒90% (R2:89.9%)</li> <li>○「一人ひとりを大切にしている指導に概ね満足」生徒80%以上 (R2:82.3%)</li> <li>○「心身の健康指導、教育相談に概ね満足」生徒 80%以上 (R2:78.9%)</li> </ul>  |    |
| キャリア教育・進路指導の充実 | <p>◇自己の生き方を主体的に考え、資格取得や部活動に意欲的に取り組み、自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の育成と希望進路の実現を目指す。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「産業社会と人間」「総合研究」や LHR 等におけるキャリアガイダンスの実施、地域学習、フィールドワーク、インターンシップの充実 (◎)</li> <li>○「IGABITO 育成事業」でのシチズンシップ教育の実施</li> <li>○資格取得や部活動の推奨(※)</li> <li>○卒業生による進路講話、地元企業による講話の実施</li> <li>○個人面談・ガイダンス面談を年2回以上実施、3年次個別の面接指導3回以上実施</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域社会への関心が高くなった」生徒80%以上 (R2:79%)</li> <li>○資格試験、検定試験の受検者 (R2:186)、部活動加入率 (R2:93.1%) が前年比増</li> <li>○「希望進路が実現した」生徒100% (R2:98%)</li> <li>○「進路指導に概ね満足」生徒80%以上 (R2:78.7%)</li> </ul> |    |

|          |  |  |
|----------|--|--|
| 人権教育の充実  | ◇様々な人権問題に関心を持ち、人権意識を高め、主体的に行動できる人材の育成を図る。  |  |
|          | <b>【活動指標】</b><br>○人権だより「ことだま」の発行、HRC 風への参加(※)<br>○3年間を見通した人権LHRを各年次3回実施(◎)<br>○生徒の実態を踏まえた人権講演会の実施<br><b>【成果指標】</b><br>○「人権意識を高め、行動する意識を持つ」生徒80%以上(R2:76.3%)<br>○「人権教育に概ね満足」生徒80%(R2:78.7%) |  |
| 改善課題     |  |  |
| (年度末に記載) |  |  |

(2) 学校運営等

「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

| 項目            | 取組内容・指標  | 結果 |
|---------------|--|----|
| 情報発信<br>信頼構築  | ◇保護者や地域への情報発信や連携を通して、共に歩む学校として信頼構築を図る。   |    |
|               | <b>【活動指標】</b><br>○保護者や地域への情報発信 年10回以上(※)<br>○保護者や地域への公開・交流・連携事業 年10回以上(※)(◎)<br>○学校ホームページの更新 月2回以上(※)<br><b>【成果指標】</b><br>○「学校の教育活動がよくわかる」保護者70%以上(R2:64.2%)   |    |
| チームワーク・組織力の向上 | ◇分掌や年次の枠を超えた協働により、教職員間の連携を強め、組織力の向上を図る。  |    |
|               | <b>【活動指標】</b><br>○ICT、キャリア教育、学校マネジメントの各委員会を年5回以上開催<br>○保健委員会を週1回開催、情報共有及び組織として対応する体制の構築(※)<br>○教職員リフレッシュ講座(IGABITO 学び合い活動)年3回開催(◎)<br><b>【成果指標】</b><br>○「仕事にやりがい、楽しんでいる」教職員70%(R2:62%)<br>○「学校経営の一翼を担っていると感じている」教職員80%(R2:73%) |    |
| 資質向上          | ◇教職員は、日頃から自己研鑽に励み、学校の課題解決に向けて他の教職員と協力・協働して取り組む。また、すべての教職員に法令遵守の意識の醸成を図る。   |    |
|               | <b>【活動指標】</b><br>○学校信頼向上委員会の活動の推進(※)<br>○教職員の資質向上のための校外研修への参加年1回以上(※)、校内研修会や学び合い活動の実施年3回(◎)<br>○コンプライアンスアンケート、コンプライアンスミーティング年3回実施<br><b>【成果指標】</b><br>○「ハラスメントを許さない職場である」と感じる教職員80%(R2:70%)                                    |    |
| 組織運営<br>働き方改革 | ◇各分掌の業務の見直し、削減に取り組み、教職員のワーク・ライフ・バランス改善の取組を推進し、総勤務時間の縮減に取り組む。   |    |

|          |   |  |
|----------|---|--|
|          | <p><b>【活動指標】</b></p> <p>○各分掌の業務の洗い出しと分担の見直し(※)</p> <p>○定時退校日を月1回設定、実施率100%(R2:100%)(※)(◎)</p> <p>○部活動の休養日を週1回設定、実施率100%(R2:100%)(※)</p> <p>○放課後に開催する定例会議は60分以内設定、実施率100%(R2:95%)</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>○年休取得日数、一人16日以上/年(R2:13日)</p> <p>○時間外労働時間、一人平均7時間以内/月(R2:7.7時間)</p> <p>○月45時間超、年間360時間超の時間外労働者0人(◎)(R2:2人)</p> |  |
| 改善課題     |   |  |
| (年度末に記載) |   |  |

#### 5 学校関係者評価

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| <p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p> | (年度末に記載) |
|----------------------------|----------|

#### 6 次年度に向けた改善策

|                               |          |
|-------------------------------|----------|
| <p>教育活動<br/>についての<br/>改善策</p> | (年度末に記載) |
| <p>学校運営<br/>についての<br/>改善策</p> | (年度末に記載) |